

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <https://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

3

March, 2019
vol. 419

Contents

建築探訪...01

会員仕事紹介...03

支部だより...05

旅行記...07

委員会活動報告...09

編集者のつぶやき...10



通りすぎた建物達（バス停編）

当支部の広報情報委員会委員から3月号の会報誌「建物探訪」は県西支部の担当で有る旨を事前にお知らせ頂いてましたので、会員へ募集をしましたが残念ながら応募者無し、そうすると、必然的に「支部長が何とかしなくては」に成ります。

そこで、一昨年に西伊豆の現場へ通っていた際、気になっていたバス停を「探訪？」して来ましたので、箸休め程度にお目通し頂ければ幸いです。

伊豆縦貫道に乗って修善寺方面へ向かい終点で降りて、国道136号線を通って船原峠を越え、土肥温泉、堂ヶ島温泉、を經由して西伊豆町仁科まで私の家から概ね片道100kmの行程でした。



下船原「林金」はやしかね バス停

最初に見付けたのは下船原「林金」バス停、屋根は入母屋風の瓦葺きで、腰壁はなまこ壁、吊し木札の有る、こだわりの木造建築でした。



上船原「天城ふるさと広場口」バス停

一級建築士事務所長谷川設計 長谷川 匡

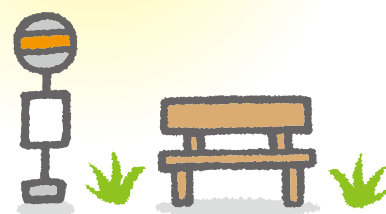
2番目に見付けたのは、上船原「天城ふるさと広場口」バス停、屋根は越し屋根風の瓦葺きで、外壁はたすき掛け筋交いを意匠的に見せた羽目板貼り、こちらもこだわりを感じる木造建築でした。



伊豆市「土肥新田」バス停

3番目に見付けたのは、伊豆市「土肥新田」バス停、清越川御幸橋の横にあるRC造で合掌造り風の建築で、隣に「長寿のおじぞうさん」が隣接する有り難さ満点のバス停でした。

これより少し進むとようやく山中を抜け、景観抜群の海沿いを走れます。





伊豆市小下田「恋人岬」バス停

4番目に見付けたのは、有名な伊豆市小下田恋人岬に有る「恋人岬」バス停、屋根はカラーベスト葺き、外壁は羽目板張り、合掌造り風の木造建築でした。

その名の通り、恋人同士がバスを待つ場所ですから、いろいろな物語が有った事でしょう。



西伊豆町仁科「田子入口」バス停

5番目に見付けたのは、西伊豆町仁科「田子入口」バス停、屋根は樹脂製、柱はスチールの建築物（工作物？）、時刻表が無いとこれが何か解らないでしょうね、随分と斬新なバス停です。屋根部分に木の枝や土が溜まり下から透けて見えるのが残念でした。



西伊豆町仁科「仁科車庫」バス停

6番目に見付けたのは、西伊豆町仁科「仁科車庫」バス停、屋根はガルバリウム鋼板葺き、外壁は腰がRC打ち放し、上部は西伊豆で有名な漆喰塗り、近年の建築物ですが、それでも、こだわりを感じる建築物でした。



伊豆市上船原「新天城ドーム」

バス停では有りませんが、途中、山の中に突然現れるドーム型運動場です。

新天城ドームは、開閉式のドームで、ソフトボール女子日本代表チームが、頻繁にこのドームで強化合宿を行う様です。

平日10,800/時、休日12,960/時と運営が心配になるほど割安です。

ちなみに、山下設計、鹿島建設が手掛けました。

伊豆半島は好景気の時に別荘や保養所が多く建設され、観光客や雇用数増加に比例して人口も増え、東海バスの利用者も多くて、当時、これだけの投資が出来たのかもしれませんが。

伊豆で長年仕事をして来たので、何か切なさを感じながら原稿を書き上げました。

街に開かれた設計事務所のあり方

近藤敦司建築設計事務所 近藤 敦司

今年で建築士事務所として開業して16年目になります。同年代の仲間に比べて、比較的若い時期から独立をしたので、実務経験の少ない中、先輩方や現場の職人たちに教を乞い、少しでもクライアントの希望を満たし、自身も納得する仕事を完成させる事ができる様に日々努力をしています。開業当初のオフィスは自宅の一室で、打ち合わせは近所のファミレス。その後は仲間と共同で借りた高架下のシェアオフィスなどで仕事をしていたが、結婚を機に現在は藤沢市内に転居し、事務所兼自宅兼店舗で仕事をしています。

店舗併設というのは設計事務所としては珍しいかもしれませんが、ひょんなことから日用雑貨や生活道具を販売する商店を共同経営することになり、旧東海道藤沢宿（…のはずれ）に店を構えて設計業務の傍ら営業をしています。

何から始めれば良いのか。」といった声も多く、これだけ情報が流れている時代に係わらず、はじめの一步から躊躇している方が多いことに驚き、設計事務所が気軽に相談できる、開かれた場所としてあれば良いと日頃から考えていました。

今年の2月9日、10日の2日間開催された「ふじさわ建築しごと展」の会場は藤沢市内のショッピングモールでした。私自身も3年前のしごと展への参加をきっかけに入会した経緯があり、新規入会事務所増強の為のPRはもちろんの事、一般の方が多数来場されることが事前に予想されたので、「のぞいてみよう、見てみよう、設計事務所のしごと」をテーマに、一般来場者にも伝わりや

3



店舗併設事務所の外観

街に向かって開かれた場所なので、日中は色々なお客様が来店します。箸やちりとり、鍋やフライパンを買いに来る人。食器を買いに来る人、何も買わないで雑談をしに来る人など。建築とは無縁な様ですが、扱っている商品は生活に使うものばかりなので、設計で培った経験も役に立ちます。商品の説明や何気ない会話の中で、設計の仕事をしている事が伝わっていくと少しずつリフォームの仕事や新築の話を頂く様になりました。「誰に（どこに）相談して良いのか分からない。」「まずは



建前体験で子供たちと一緒に



上棟後の記念撮影



ワークショップでの風景

すい様な作品の展示方法、セミナーやワークショップの企画を実行委員の一人として参加し検討しました。

子供向けのワークショップとして「ミニハウスの建前体験」、神奈川県で採れた8種類の木材を使い、木に触れて遊ぶワークショップ「水の積み木で遊んでみよう」、二世帯住宅や健康住宅をテーマとした設計事務所の家づくりやりフォームのセミナーなど、身近に設計事務所の存在を知ってもらうためのイベントをたくさん企画しました。また、会場では市内の会員事務所の所在地をエリアごとにまとめたマップを配布し、家に持ち帰ってもらえるような工夫も施しました。



展示風景

お子様連れのご家族にも好評を頂き、各イベントは盛況のうちに終わり、大勢の方にご来場頂くことができました。反省点も多々あり、改善の余地もありますが、継続してこのようなイベントを一般の方々が集まる場所で続けていくことが、設計事務所の仕事を身近に知ってもらう良い機会になり得ると感じ、個人としても街に開かれた活動を継続していきたいと思います。

4



展示風景 一般の方にも見やすい展示を心掛けた



当事務所の展示ブース

「明治記念大磯庭園」 明治150年記念公開 ～整備事業への期待～

有限会社さいとう設計企画 齋藤 清

近頃珍しい木造の駅舎を出ると、12月の大磯駅前には午後5時なのに暗く寂しい。数年前にできたコンビニの明かりがやけに眩しい。朝になると熟年ハイカーグループの待ち合わせの賑わいにほっとする。

左手の海水浴場におりていく坂のさざんか通りの角には「旧木下別邸（別名三角屋敷）」。

聞くとところによると日本初のツーバイフォーの洋館（有形文化財登録の結婚式場）。柔らかい明かりがなつかしい。大正モダンの雰囲気を出している。

右手にはエリザベスサンダースホーム（澤田美喜記念館）、歴史と坂の町大磯。山の緑・海の青、西行法師ゆかりの「鳴立庵」、役場前の国道から仰ぐ富士山はとて大きく見える。

登りきった坂の松並木には、かつてプリンスホテルが経営していた中華料理店・結婚式場の「滄浪閣」がある。売りに出されたが、購入した人はクローズしたままで持て余していたようだ。旧伊藤博文邸が泣くように思えた。

一昨年前の閣議で明治150年記念のひとつ「明治記念大磯邸園」の整備と一部公開が決定された。9月中旬、仮設トイレ・仮設事務所が設置され、慌ただしくなってきた。豪華マンションの左手の大谷石堀に囲まれた門はいつも閉ざされたままで古河電工大磯荘の看板と警備会社のマークが設置されていた。この堀の向うに小砂利敷の道路と生垣に囲まれた屋敷が2棟あったことをはじめて知った。右に旧大熊重信邸、左に旧陸奥宗光邸、建物・庭木の管理が行き届いていたのにはびっくりした。

旧伊藤博文邸脇のせまい道をはさんだ右手、旧西園寺公望邸（旧池田成彬邸）も整備計画区域に含まれているが、今回の公開には至らなかった。堀の向うの木々は伸び放題、わずかに見える建物もかなり荒れているように見える。これから整備された姿が楽しみだ。

少し先には、焼失後復元された旧吉田茂邸・城山公園もあり、10月23日から12月24日までの54日間の公開で延べ20791人の来場者があった。



旧木下別邸（別名：三角屋敷）



旧伊藤博文邸（滄浪閣）



旧大熊重信邸神代の間

大磯町民の私でさえも抽選にもれて見る事ができなかった。

大磯にはまだまだ見処・宝が沢山あります。3万3千人弱の町に観光客が押し寄せてくる光景に心がおどらされる。

相模原支部紹介

スタジオアートクリエイト一級建築士事務所 杉本 勝郎

去る昨年末 12月25日に我が相模原支部は相模原市と「相模原市における空家対策に関する協定」を締結しました。

その目的は、

- 1.空家等の発生 of 未然防止、増加の抑制、適切な管理が行われていないことで周辺住民に影響を及ぼしている空家の解消、流通・活用等の推進
- 2.専門団体と市が相互に連携・協力し、市内の空き家等に関する総合的な対策を進めることによる市民生活の安全・安心の確保となっています。

今回市と個別に協定を結んだのは 当支部の他に

- ①神奈川県弁護士会
- ②神奈川県司法書士会

③神奈川県行政書士会

④(公社)神奈川県宅地建物取引業協会相模北支部

⑤(公社)神奈川県宅地建物取引業協会相模南支部

⑥(公社)全日本不動産協会神奈川県本部相模原支部

⑦神奈川県土地家屋調査士会

の7団体です。市内のこれら団体とは一昨年の相模原市協働事業の中で「空き家利活用マニュアル」を作成する過程で協力を頂いたこともあり交流がありました。今後は相模原市とこれら専門家8団体が連携会議を設置し情報共有や意見交換を行っていきます。

また市民の為の相談窓口の設置と相談内容が他業種にまたがる際の連携を進めることとなります。この活動は建築士事務所のより広い周知と認知を深めると信じ頑張っていく所存です。



相模原市長と支部役員

旅行記

横須賀支部長

株式会社アスデック建築事務所 小泉 厚

神事協の会員でもあるミーズ設計連合協同組合の組合旅行が初冬の12月、1泊2日で行われました。連年、連泊が多い中、今年は組合員の参加率を高めるため1泊とし、のんびり、ゆっくり、そして大人の旅行ということで、身近で、日本が誇る観光地「箱根」となりました。組合旅行となれば、楽しみは1.酒 2.食 3.建物巡り。

横須賀を遅めに出発し、まずは昼食。御殿場での昼食は司季彩庵「久呂川」での懐石料理。オーナー兼料理人の自宅を改装した家庭的な和の空間での食事。什器もセンスが表れており、料理への期待度が高まる中、ビールで乾杯してすぐさま日本酒へ。

ここで出てきたガラスの御猪口、中の突起まで酒を注ぎ、香を楽しむこだわり様は、もちろん料理にも表れ、目で楽しめ、舌でも満足。特に盛り付けは素晴らしく、写真の八寸の盛り付けは、彦麻呂流にえば「八寸の玉手箱や〜」というように季節感を表現した手を付けることが惜しい演出でした。日本酒は料理に合わせて醴泉(岐阜)、大七(福島)、謙信(新潟)と楽しみ、ほろ酔いとなったところで、次の見学地、東山旧岸邸へ移動。

午後の日差しに映える紅葉の中に戦後の日本をけん引した岸信介の自邸が謙虚ながらも風格を漂わせながら存在していました。設計は吉田五十八。1969年(昭和44年)に建てられたこの建物は数寄屋建築ながら、当時の工業製品の導入が見られ、ビニールクロスやサッシによる開口部処理等、新たな挑戦が見受けられました。天井の高い居間では応接椅子に座らせていただき、和風庭園をながめながら、ここでどれだけの政治家、財界人と論議を交わし、決断してきたのかと、首相に成りきり笑みを浮かべながら空想してみました。

庭に出て建物プロポーションを眺めてみると、庇の出た和室部分の数寄屋のスケールと、居間・食堂があるパブリックな部分での軒高の高いプロポーションが絶妙なバランスを保っていました。

また、庭を散策すると、モミジの落ち葉があられ菓子のようにちりばめられ、普段見ることのできない初冬の風景を見させてもらいました。この、旧岸邸の指定管理者は虎屋で、近接する虎屋の工場を併設したカフェの設計者は内藤廣氏です。キャノピーのレールを組み合わせた柱等、内藤ワールドを彷彿させていただきました。

少し日が傾き始めましたが次の目的地ポーラ美術館へ。国立公園内の美術館ということで環境アセス等設計段階から話題となり、「箱根の自然と美術の共生」がコンセプトの是非とも訪ねてみたかった美術館です。到着時間が遅く森の遊歩道を散策することはできませんでしたが、逆に夜景に映える美術館観賞ということで、内部からライトアップされた風景、そして内部空間(美術鑑賞含め)を楽しませていただきました。ポーラと聞いて思い浮かぶのは、山手線から見る五反田のポーラ本社ビル。電車の車窓から見るロビーのガラス及び斜面植栽のサツキは印象深く、美術館でのガラスや緑の使い方等を見ると日建設計のポーラという企業に対する建築としてのアイデンティティを強く感じさせてくれました。(あくまで個人の意見)

さて、そろそろ、ホテルの方へ、今回の宿は旧三井財閥 團琢磨男爵の別邸箱根ハイランドホテル。たまには仲間内でも気兼ねしないようにと今回はツインの部屋を1人で使うという贅沢ぶり。夜、遊ぶ場も近くにないことから、たまには家族と離れて自分を見つめ直すいい宿泊となりました。

翌朝は箱根美術館へ。

あと1週間早ければさらに紅葉は素晴らしかったと思いながらも、赤のモミジと緑のコケの対比が美しく和風庭園の奥の深さに感動しました。ここ箱根美術館は姉妹館である熱海のMOA美術館とは違い、建物は質素な分、美術作品への関心を増幅させ、また建物内部から見る景色が更なる

感動を与えてくれました。

2日目の見学はこの1館をゆっくりと見学し、帰路へ。

最後の昼食は小田原お堀通り和食の老舗「音羽」でまたもや懐石料理そして日本酒を食させていただきました。

普段は職業柄、建築見学が目的でスケジュールをつめることが多いですが、たまには、ゆったりした旅行もいいものです。

最後に道中、箱根らしい良いコピーを見付けました。

「おじいちゃんと私は同じものをいいと言う。」



突起がある御猪口



季節をちりばめた八寸



庭からの旧岸邸



旧岸邸の居間



旧岸邸サッシデテール



あられ菓子のようなモミジの落ち葉



旧岸邸に隣接する虎屋



ポーラ美術館



ポーラ美術館内部



ホテルの部屋からの紅葉



箱根美術館での集合写真



箱根美術館展示室からの景色

委員会活動報告

連続講座「誰でもできる限界耐力計算法」講習会 満員御礼

木造専門委員会 伝統構法部会部会長
株式会社悟工房 山中 信悟

古き良き木造建築物を残し伝えていくために伝統構法部会が産声を上げ、本年度、一人でも多くの仲間を、一人でも多くの技術者を増やそうと、耐震性を診断する設計法の一つである限界耐力計算法の講座を開催しました。限界耐力計算と聞くと、構造技術者の中でも相当な知識と技術が必要なのでは？とまだまだ多くの方が思われている傾向があります。

しかし、伝統構法部会の部会員の多くは、構造設計者としてではなく木造建築物を扱う普通の技術者として、この設計法を認識しており活用をしています。その中で、まずはこの設計法の進め方を知っていただき、選択肢の一つとして認識していただくために、壮大な概論を壇上から伝えるよりもまず親しんでいただきたいと考え、会員の皆様に身近な部会員が講師を務める連続講座という形式で、3回にわたり開催させていただきました。テキストには、(一社)日本建築構造技術者協会関西支部(JSCA関西)監修のマニュアル「木造住宅・建築物の耐震性能評価・耐震補強マニュアル」を用いて実務に近い形としました。

第1回(6/27)は、基本的な概念と計算の中で重要な地盤の判定方法、概算値として判断のしやすい簡易設計法を、演習を通じ学びました。これにより、診断のまず初めに建物の立地する地盤の特性により大きな差があり、その結果に

よっては補強自体も難しいことを実感していただきました。

第2回(8/22)では、建物特性の集計として、建物の荷重及び耐震性能の基幹となる復元力特性の集計を演習し、建物の構成を自分の手で計算しながら確認をしていただき、現地調査の際にどのようなところに着目すべきなのかを演習していただきました。

まとめとなる第3回(10/24)では、参加者にパソコンを持参していただき、JSCA関西にて用意されているエクセルのプログラムに今までの演習の結果を実際に入力し、建物の応答値を各自求める演習をしました。これにより目安となる応答値が眼前にみえることを知っていただきました。診断自体はこのほかにも浮き上がりや建物のバランス、柱の座屈などを検証する必要があることを伝え、盛況のうちに講習会を終えました。

実際に実務で検討するようになるには今回の講座だけでは不足かもしれませんが、一つの道として知っていただくことはできたと思います。今回は募集定員を超える応募をいただきお断りする方が多くいらしてご迷惑をおかけしましたが、こういう機会を続けていければと今後の部会活動に目標ができた講習会でもありました。最後になりますがご参加いただきました皆様ありがとうございました。



新入会員のご紹介

12月入会者

横浜支部

株式会社さくら設計工房
〒233-0004横浜市港南区港南中央通13-22
TEL.045-342-6190 FAX.045-353-5303

長濱 行弘

1月入会者

横浜支部

ヴェッツデザイン
〒235-0041横浜市磯子区栗木3-20-5
TEL.045-777-8562 FAX.045-777-8562

米長 洋

退会者

横浜支部

森村建築事務所

森村 博

株式会社システムデザイン一級建築士事務所

秋山 芳美

株式会社ロークデザイン一級建築士事務所

稲垣 峰雪

相模原支部

一級建築士事務所有限会社と設計事務所

内沼 良和

変更

横須賀支部

安田建築設計事務所
(事務所名称変更)
旧) 有限会社安田建築設計事務所

大和綾瀬支部

株式会社原昌吾企画設計
(指定代表者変更) 齊藤 晃

藤沢支部

はやかわ建築計画
(事務所名称変更)
旧) 早川建築計画

賛助会新入会員

関西ペイント販売株式会社

第一法規株式会社

賛助会退会者

株式会社光電社

株式会社ヨコヅナ東京営業所

会 勢

平成31年2月15日現在

支部名	平成30年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	257	258	11	10	1
川 崎	107	108	3	2	1
横 須 賀	53	53	0	0	0
湘 南 三 浦	17	18	1	0	1
藤 沢	43	41	0	2	-2
鎌 倉	41	40	0	1	-1
茅ヶ崎寒川	17	17	0	0	0
平 塚	23	22	0	1	-1
秦 野	16	16	0	0	0
伊 勢 原	6	6	0	0	0
大 和 綾 瀬	18	18	0	0	0
厚 木	29	28	0	1	-1
座 間	15	15	0	0	0
海 老 名	16	16	0	0	0
愛 川	6	5	0	1	-1
相 模 原	70	69	2	3	-1
県 西	40	41	1	0	1
合 計	774	771	18	21	-3
賛 助 会 員	92	101	11	2	9

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

少し前になりますが、東京都江戸川区にある葛西臨海公園に行ってきました。近くに用があったので、その空き時間に寄ってみようと思い立ち、久しぶりに重い足を運んでみました。

めあての一つであった展望広場の丘の上に立つレストハウス「クリスタルビュー」は、この日は非常に天気がよく、建物の良さが特に際立っていました。

谷口吉生氏の設計で、細部まで綺麗に設計されている建物です。とても25年近くも前の建物とは思えないデザインで、いろいろ学ぶことの多い建物です。

透明感、素材感、建物形態のバランスの良さ、人の動き、風、視線、看板サイン、様々な要素が優れたバランスの上に成り立っており、改めて建物が出来ることの役割の大切さを感じました。



また、せっかくなので葛西臨海水族園にも立ち寄ってみました。象徴的なエントランスが同じように綺麗でした。この水族館はクロマグロがいるのが特徴的で、マグロの特徴を学べますが、食べたくなるので、夕飯はマグロになりました。

自分の日常業務ではなかなか実現できない建物を仕事から離れた際に見たことで、ふと、新鮮な気分を感じられたいい機会でした。

〈海老名支部 仙波 弦〉



かながわ 平成31年3月号 (通号419号)

発行 平成31年3月1日 (奇数月1日発行)

発行人 白井 勇

発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F

TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807

印刷所 株式会社 柏苑社

・担当副会長 西倉 哲夫
 ・広報情報委員長 杉本 勝郎
 ・広報情報副委員長 相原 聡
 ・広報情報委員 雨森 隆子 赤川 真理 小山 将史
 ・ 田代 智子 田中 敦史 仙波 弦
 ・ 石川 勝彦 神尾 明美
 ・事務局 久保田 千尋



今月の表紙

東慶寺の紅梅

北鎌倉 東慶寺は、「縁切寺・駆け込み寺」として名を知られた古刹ですが、現在は恋愛や婚活に迷った際のパワースポットとのことで、午前もまだ早い時間とは言え妙齢の女性の姿もちらほら。片隅には紅梅の蕾のふくらみが春の訪れを告げていました。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association